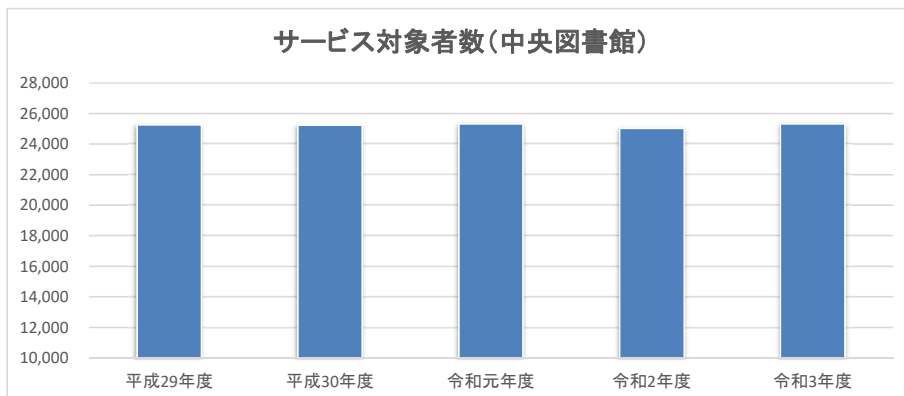


## 中央図書館利用状況

### ○ サービス対象者(中央図書館)

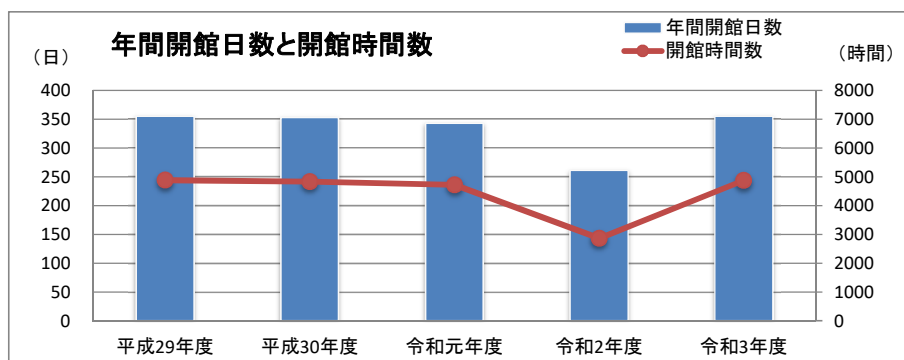
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
サービス対象者数(人)	25,252	25,240	25,331	25,033	25,323



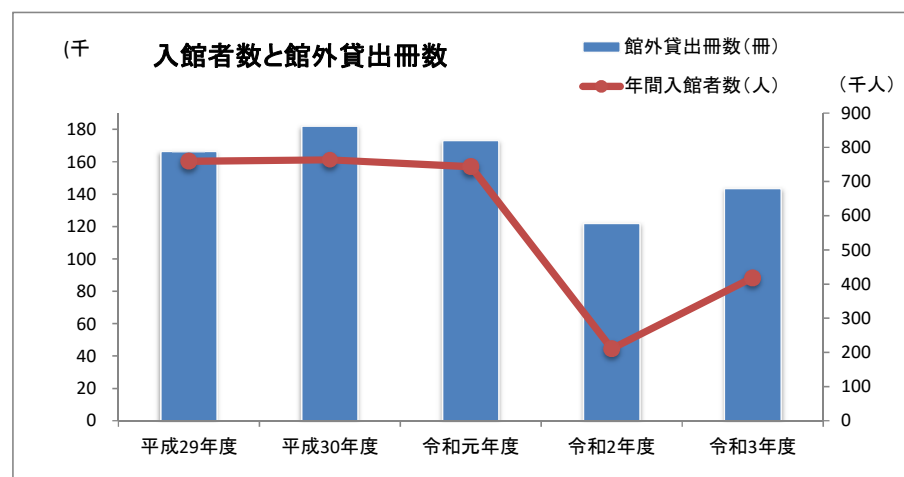
備考  
サービス対象者には、非常勤教員、非常勤職員もデータに含む。

### ○ 閲覧業務(中央図書館)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間開館日数	355	353	343	261	355
開館時間数	4,883	4,837	4,722	2,863	4,882
年間入館者数(人)	759,736	763,319	743,709	210,683	418,101
館外貸出冊数(冊)	166,214	181,795	173,042	121,989	143,453



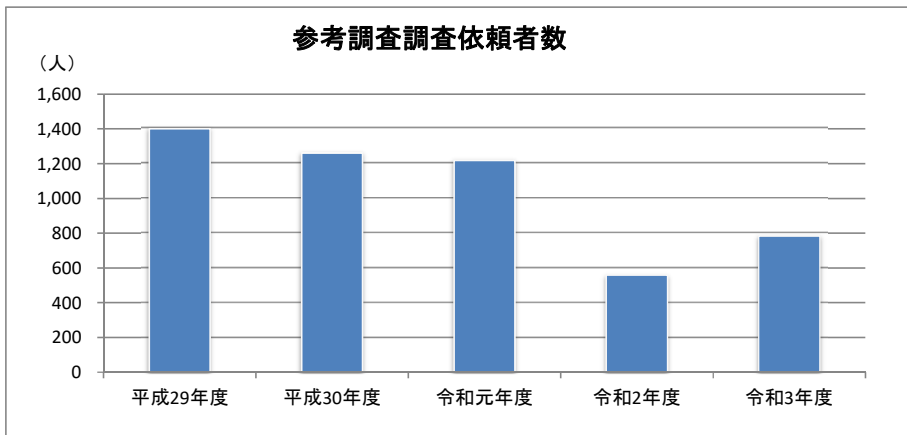
備考  
・令和2年3月-11月は、新型コロナウイルス感染症対応のための臨時休館(4/18-5/18、11/13-16)、開館時間短縮(10月まで平日9時-17時のみ開館; 11月は平日9時-22時、休日8:45-22時開館)により、開館日数・開館時間数が減少した。



備考  
・貸出条件変更(貸出冊数増等)を平成30年1月より試行、平成30年10月より本実施により、貸出冊数が上昇した。  
・令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症対応による開館時間短縮と一部サービス変更により、入館者数・貸出冊数が減少した。  
・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応による臨時閉館および開館時間短縮と一部サービス変更(閲覧席の利用制限、学外者の入館制限)により、入館者数・貸出冊数が減少した。  
・令和3年度も新型コロナウイルス感染症対応による一部サービス変更(閲覧席の利用制限、学外者の入館制限)が続いた。

○ 参考調査業務(中央図書館)

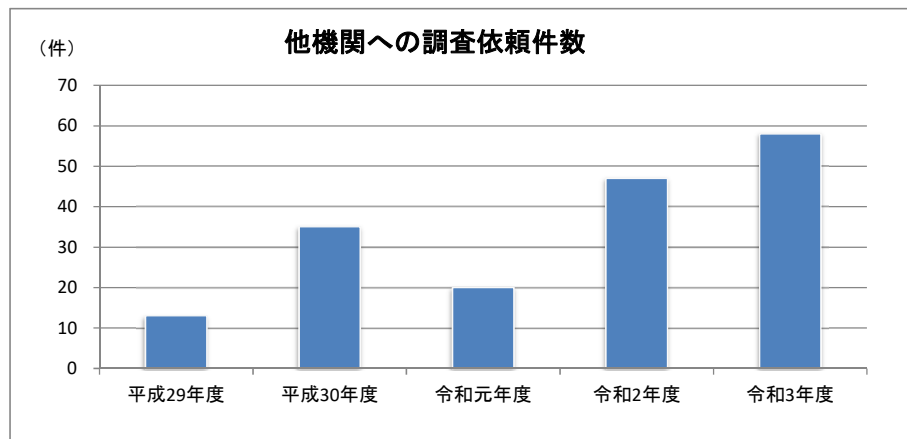
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
調査依頼者数(人)	1,400	1,261	1,218	559	784
他機関への調査依頼(件)	13	35	20	47	58



備考

来館利用者からの依頼のみ計上

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、参考調査依頼者数が減少した。

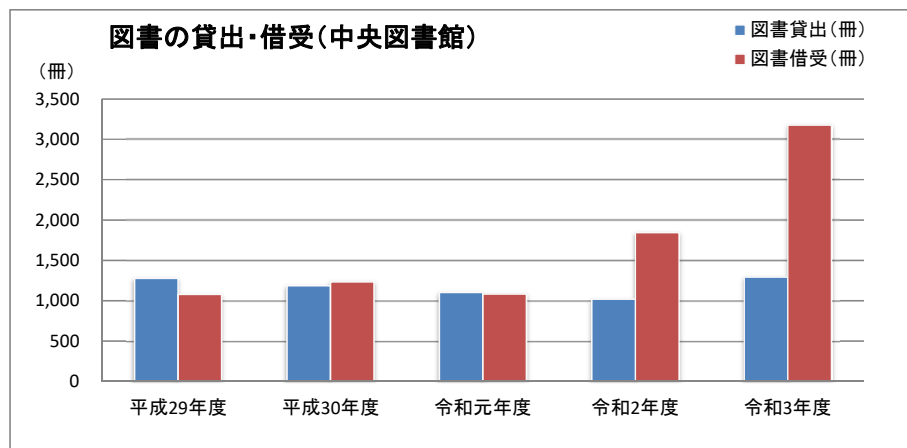


備考

・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったため、他機関への調査依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

○ 他機関との相互利用業務(中央図書館)

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
図書貸出(冊)	1,277	1,188	1,104	1,020	1,296
図書借受(冊)	1,080	1,235	1,085	1,845	3,176
文献複写受付件数(件)	2,975	2,541	1,763	1,993	2,263
文献複写依頼件数(件)	3,606	3,502	2,774	4,970	7,793
他機関への利用申請(件)	43	64	56	2	9

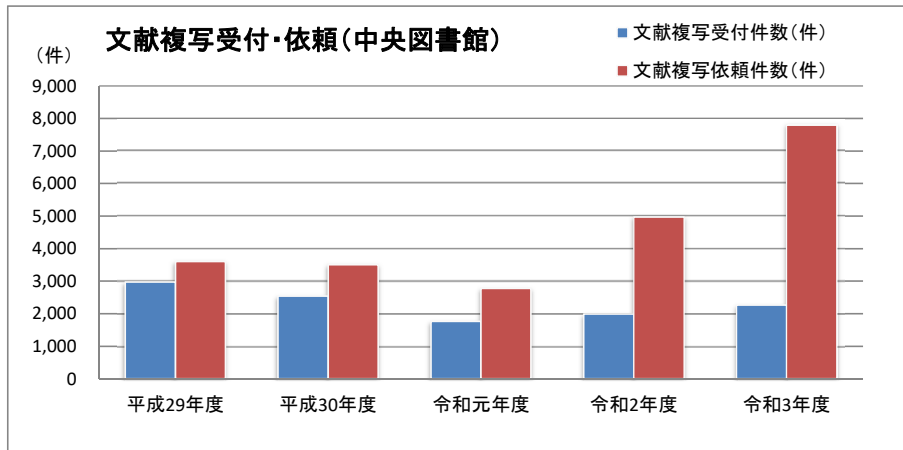


備考

・全国的に平成22年度以降は減少傾向であり、令和2年度までは落ち込み続けたが、令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

図書借受に関して全国の傾向と一致せず増減があるのは、愛知県図書館便での取り寄せが一因になっている。

・令和2年度、ILL集約試行実施(10/1～)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関からの図書借受件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

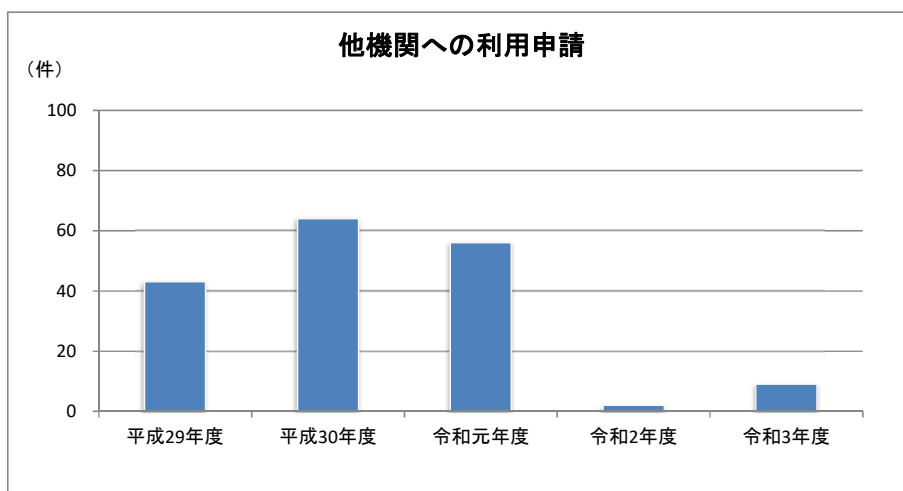


備考

・電子ジャーナルの影響で、全国的に2005年(H17)以降は減少傾向。令和3年度は増加に転じている(NACSIS-ILL)。

依頼に関して

・全学的に、Elsevierのパッケージ契約をしていなかった平成26-27年度は依頼件数が多かった。  
 ・平成24年度から、申込者の費用負担を軽減するサービスを実施している(H24年度は試行)。  
 ・令和2年度は、ILL集約試行実施(10/1~)と、新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への文献複写依頼件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。



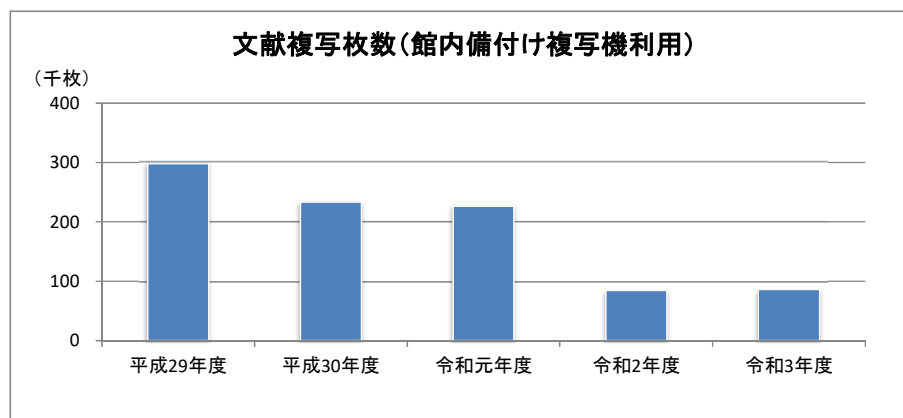
備考

本学含め申請なしで利用を受け入れる機関が増えているが、申請が必要な機関を複数回利用する人がいる年は、必ずしも減少しない。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため入館制限をかけている他機関が多かったこと、県をまたいだ移動の自粛を求められる期間があったため、他機関への利用申請件数が減少した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

○ 館内資料の文献複写利用(中央図書館)

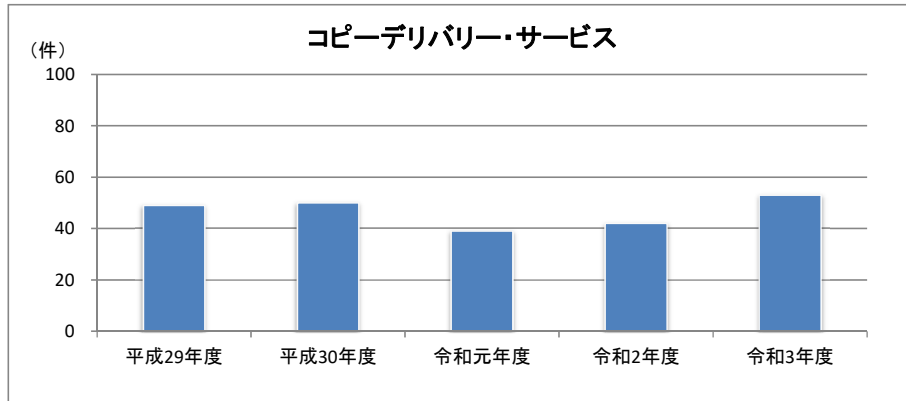
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
文献複写枚数(館内備付け複写機利用)(枚)	297,641	232,878	226,262	84,139	85,612
コピーデリバリー・サービス(件)	49	50	39	42	53



備考

減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリの効果が要因であると考えられる。

・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染症対応にともなう入館者数の減少により、文献複写件数が減少した。



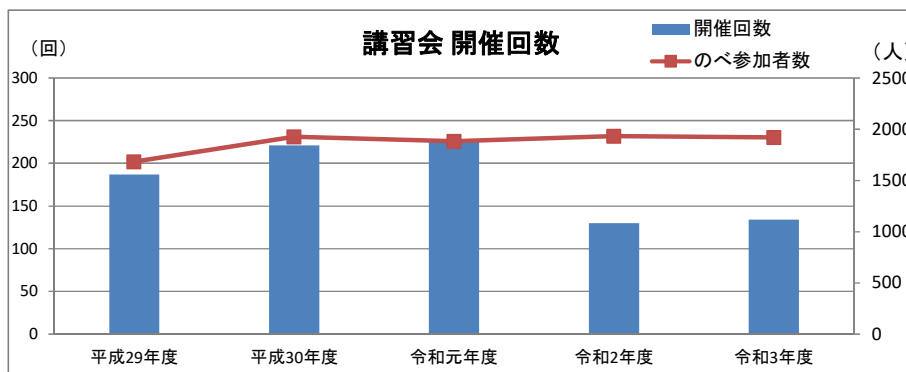
備考

減少傾向は、電子ジャーナルの普及や、学術機関リポジトリの効果が要因であると考えられる。

・令和2年度はILL集約試行実施(10/1～)のためコピーデリバリー・サービス件数が増加した。令和3年度も同様の傾向が見られる。

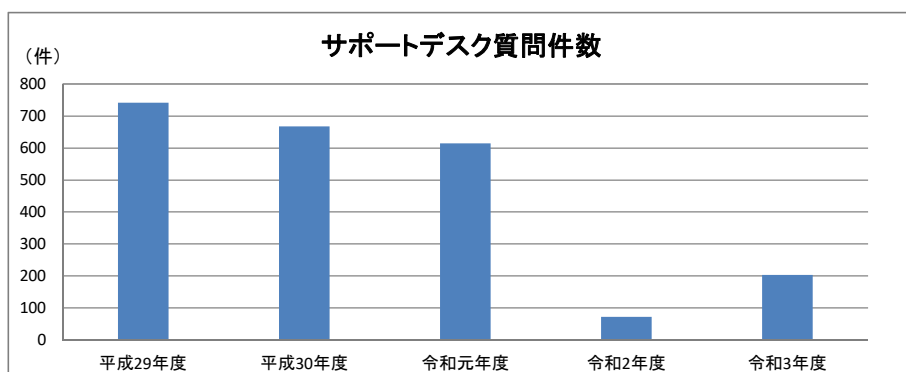
## ○ 学習支援サービス

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
講習会開催回数(回)	187	221	228	130	134
講習会のべ参加者数(人)	1682	1927	1883	1933	1921
(件)	742	668	615	72	203



備考

・令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のために、令和元年度まで小規模で何度も開催していた対面講習会をオンデマンド講習会へ置き換えたため、開催回数は減少したままである。しかしながら参加者数自体は維持されており、形式の置き換えがスムーズにいき、新しい形として浸透しつつあるといえる。



備考

・新型コロナウイルス感染症対策で、中央図書館の座席数半減、来館者数や滞在時間の減少、サポートデスクの一時休止の影響で、質問件数が大きく落ち込んだ令和2年度から、開館日・来館者数の増加と歩調をあわせて、回復傾向にある。

○ 館内施設利用(中央図書館)

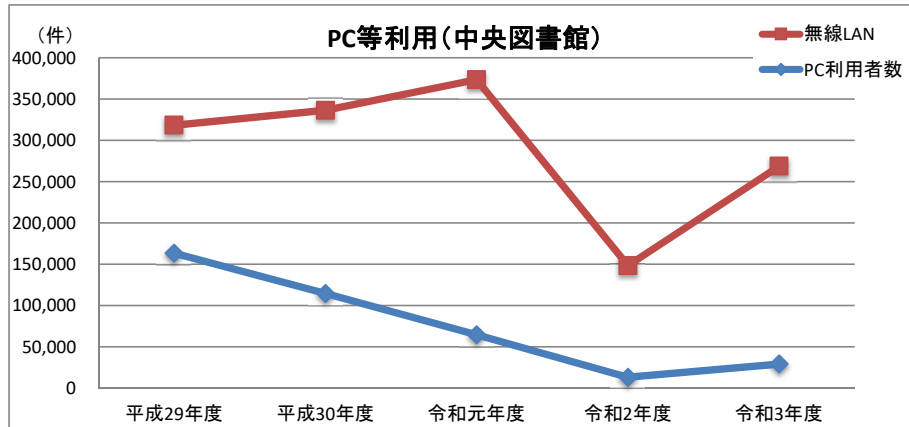
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
研究個室(件)	13,682	16,378	15,956	7,070	46,909
サテライトラボ(件)	40	34	62	25	55
セミナールームA, B(件)	208	162	157	13	38
ディスカバリスクエア(件)	644	964	869	0	0
ワークポッド(件)	-	-	-	-	5,017
ラーニングポッド(件)	2,054	2,361	1,903	0	3,348
ライティングサポートブース (件)*図書館申込分のみ	26	14	47	0	0
視聴覚ブース(件)	1,740	1,843	1,382	348	315

備考

・令和2年3月から令和3年10月まで、研究個室と視聴覚ブースを除く館内施設利用件数は、新型コロナウイルス感染症対応によるラーニングコモンズ(2F全域及びラーニングポッド(3F))の利用制限により、0件となった。ディスカバリスクエアおよびライティングサポートブースの利用は令和3年度も中止したままである。  
 ・令和3年度から、研究個室の数が24室から59室に倍以上増えた。  
 ・令和3年度から、ワークポッド(4室)の利用提供を開始した。  
 ・令和3年度から、ラーニングポッドC(3室)を予約制とした。令和元年度まではラーニングポッドA/Bの利用件数のみを計上している。令和3年10月から、ラーニングポッドA/Bの利用を再開した。

○ PC等利用(中央図書館)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
PC利用者数	163,315	114,582	64,690	13,178	29,257
無線LAN	318,466	336,433	373,477	148,446	268,777



備考

・平成27年度以降、情報メディア端末の据え置き型PCの利用が減少し、無線LANの利用件数が増加する傾向が顕著になってきている。

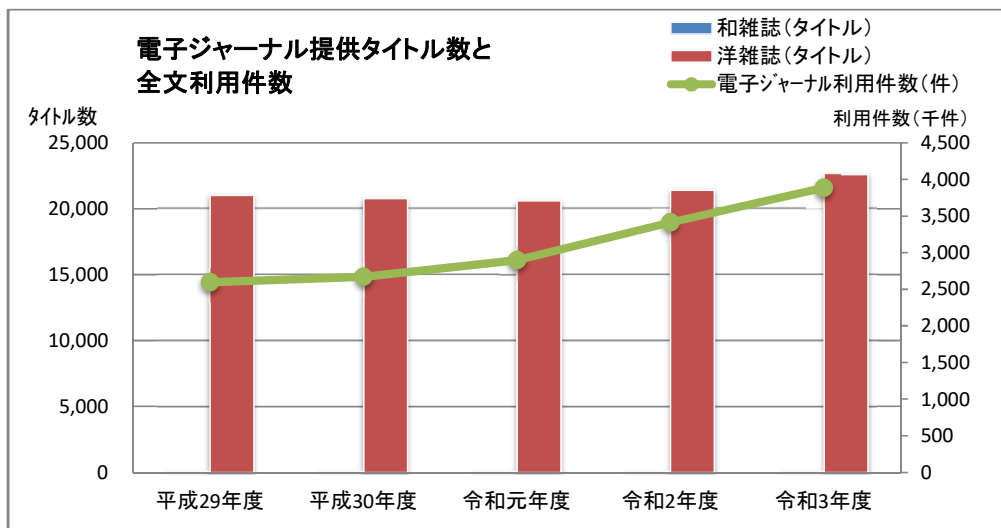
・令和元年8~9月の情報メディア端末の更新に伴い、その期間の利用件数が0件となったこと、および令和元年4~8月の利用件数が通常と異なるログに拠ることとなったため、半年間の利用者数が前年度より減少した。

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対応による臨時閉館および開館時間短縮と一部サービス変更(PC席の利用制限)により、利用者数が減少した。

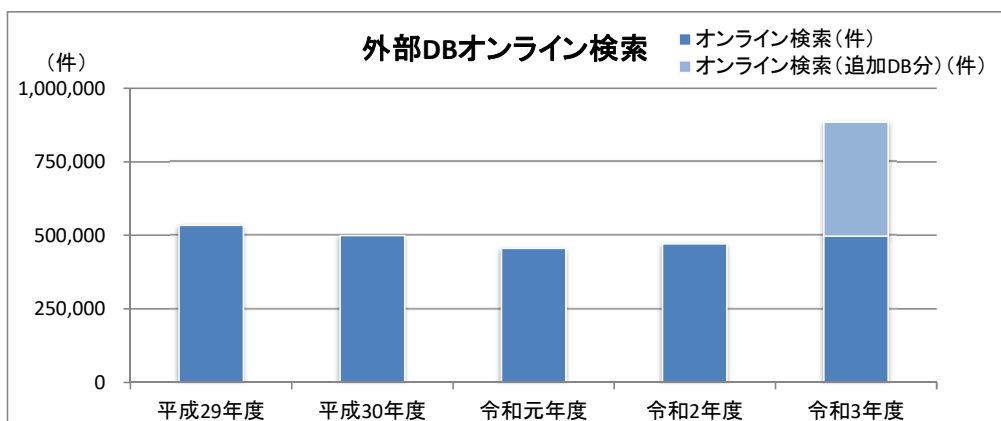
・令和3年度も新型コロナウイルス感染症対応による一部サービス変更(閲覧席の利用制限)が続いた。

○ 電子図書館サービス

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
和雑誌(タイトル)	72	72	70	70	72
洋雑誌(タイトル)	21,009	20,776	20,608	21,416	22,588
電子ジャーナル利用件数(件)	2,594,985	2,671,848	2,895,503	3,414,439	3,885,842
オンライン検索(件)	533,819	499,295	456,022	471,154	497,473
オンライン検索(追加DB分)(件)	0	0	0	0	386,823



備考  
 全文利用件数  
 ScienceDirect 1,218,505件  
 WileyOnlineLibrary 586,275件  
 Nature 536,697件  
 ACS 457,719件  
 SpringerLINK 300,992件  
 OUP 125,735件 など  
 ・ScienceDirectのコレクション変更やWileyのパッケージアップグレードでタイトル数、利用件数が増加。



備考  
 これまで計上していなかった下記についても、主なDBとして令和3年度より計上を行うこととした。  
 JapanKnowledge: 97,220  
 Scopus: 33,346 (2021年4月導入)  
 医中誌Web: 71,687  
 化学書資料館: 65,133  
 聞蔵IIビジュアル: 61,248  
 国史大辞典: 11,806  
 中日新聞: 5,488  
 日経テレコン: 30,443  
 毎案: 4,165  
 ヨミダス歴史館: 7,287